

教科名	工業（土木）	科目名	土木製図	
科目の目標	製図に関する日本工業規格および土木の分野の製図について基礎的な知識と技術を習得させ、製作図、設計図などを正しく読み、図面を構想し作製する能力と態度を育てる。			
履修学年	2学年	学科・コース	土木	
単位数	2単位	授業形態	実習	
教科書	7実教工業306土木製図	副教材等	なし	
1 学習の目標				
模範設計を写図することにより製図の表現方法を身に付けます。 基本図面を読解する力を養います。実習で行った地形測量をもとに図面を作り上げる。				
2 学習内容と進め方				
製図室において期限を決めて模範設計を写図する形態で行います。 実習のグループごとに一つの素面を作製する形態でも進めます。				
3 学習の留意点				
製図は、工業（土木）を学ぶための基礎となる教科です。他人が見ても理解のできる図面にしなければなりません。提出期限をしっかりと守って下さい。				
4 評価の方法				
『関心・意欲・態度』『思考・判断』『実習・実技などの技能・表現』『知識・理解』などの評価の観点をもとに、提出図面の成績に、学習活動の取組状況、レポートや課題の提出状況などを加えて、総合的に判断する。《図面・レポートなど》				
5 授業計画				
月	単元	学習内容	評価の観点	考查等
4月	はじめに	オリエンテーション 土木製図について	【関】 ・学習活動に積極的に参加しているか。 ・互いに協力しながら、作業を行っているか。	この単元を 自己評価してみよう A B C
6月	線・文字の練習	製図の文字・線の模範 設計を写図する。	【思】 ・内容を理解して、製図を作製しているか。 ・製図器を適切に判断し、使用しているか。	この単元を 自己評価してみよう A B C
	投影図・透視図	投影図・透視図の模範 設計を写図する。		この単元を 自己評価してみよう A B C
8月	一般横断面図	街路の標準構造図の模 範設計を写図する。	【技】 ・機器を適切に使用し、正しい測定ができたか。 ・図面がきれいであるか。 ・製作物を期限までに完成できたか。	この単元を 自己評価してみよう A B C
	道路設計図	標準横断面図・側溝・ 擁壁標準図などを写図 します。		この単元を 自己評価してみよう A B C
10月	ロックフィルダム	ロックフィルダムの横 断面図・標準横断面図 を写図します。	【知】 ・報告書を作成することにより、内容・ 結果を理解できたか。 ・各図面の基礎的技術を体験し、理解で きたか。	この単元を 自己評価してみよう A B C
12月	溶接記号	溶接記号を写図します。		この単元を 自己評価してみよう A B C
	プレートガーター橋	プレートガーター橋の 主桁構造図を写図しま す。		この単元を 自己評価してみよう A B C
3月	まとめ	1年間のまとめ		この単元を 自己評価してみよう A B C

【関】は「関心・意欲・態度」、【思】は「思考・判断・表現」、【技】は「技能」、【知】は「知識・理解」をあらわす。